

2015年度事業計画書

【期間】2015年4月1日～2016年3月31日

1. 事業方針

◆中期ビジョン（2015年4月～2018年3月）

CoCoTは、地域に住む人々が、自分たちのまちのことを自分たちで決めることができ、誰もがそれぞれに居場所のある地域社会の実現を目指しています。

複雑に変化し高齢社会となった現代で、お金のある人だけが良いサービスを受けることのできる社会は、決して生きやすい幸せな社会ではありません。

地域で生活し関わり合う人々がそれぞれの発意と役割分担により、共に試行錯誤を重ね、課題解決への道筋をつけ、多様な事情を抱える人々と、共に生きる社会を創り上げていこうとする動きが始まっています。これからは、自分たちなりの答えを見つけるためのプロセスを描きプランニングする役割（コミュニティコーディネーター）の存在が重要です。

CoCoTは、これからの職業として、コミュニティコーディネーターの可能性を広げていきたいと考えています。

◆中期目標（2015年4月～2018年3月）

1. 2015年より3年間かけて、実践的かつ明確な対価志向性を持った事業型NPOとして、再構築します。
2. コミュニティコーディネーターとNPO経営のプロフェッショナル集団で構成される組織づくりを目指します。

1-1. 2015 年度基本方針

1. 経営体制を立て直します
2. 財政を立て直します
3. 事業部門を整理します

1. 経営体制を立て直します

○これまでの蓄積を洗い出し、ビジネスモデルを作ります。そのために、アイデアから企画を練る「キタルプロジェクト」を立ち上げます。

○経理担当者と事業担当者による事業プロジェクト会議を開き、経営状態と進捗を共有します。

○理事は、経営会議担当理事と事業プロジェクト担当理事を引き受けます。

○理事会は、以上の実施承認とチェック機関として、年3回程度の開催とします。

○判決が確定したことを受けて、松戸市に対して、名誉の回復と、社会的地位の回復及び実質的金銭的な損害賠償、そして、それらのことを話し合う場を求めていることを伝えています。今年度は、松戸市との関係改善に努力します。

2. 財政を立て直します

○事業収入のうち、委託事業収入と自主事業収入の比率を1：1の割合にして、委託事業に頼らない収入構造を造ります。（担当：キタルプロジェクト）

○委託事業は、少なくとも2年は継続できる見込みがあり、コーディネーション機能を発揮できる事業を受託するように方向づけます。（担当：事業プロジェクト会議）

○コミュニティシンクタンク的な役割を、対価性のある事業にするための要件を整理し、ツールを作成します。（担当：キタルプロジェクト）

○中間支援組織の仕事をシャドーワークとにならないように、活動原価を算定します。（担当：事務局）

3. 事業部門を整理します

○財政が立ち直るまで、当分の間、まるごとスマイルファンドの助成を停止します。

○講座・イベント等の主催事業については、今年度は取り組みません。

○地域活性化センター松戸運営の固定費を、利用スタッフや会員の協力を得て、捻出します。具体的には、コピーや備品の利用料を拠出してもらいます。また、施設の活用アイデアを募ります。（担当：事務局）

1-2 事業系

(1) 人材育成事業部門

人材育成に本格的に取り組むための準備期間とするため、主催事業はしませんが、講師派遣は積極的に進めます。これまでの実績を取りまとめて、わかりやすい成果物にします。

- ① コミュニティコーディネーター育成
- ② コミュニティワーカー養成

(2) 地域連携事業部門

○高齢化社会に対応した地域の見守り体制づくりの研究を、公益財団法人ニッセイ聖隷健康福祉財団の支援を受けて、政策提言のプロセスの検証とサロン事業のモデル化を試みます。それに伴って「松戸あんしん電話地域見守り協議会」の事務局を担います。

○松戸東口周辺エリア活性化事業「ヒカッテルネ！松戸マルシェ」は、実行委員会形式を継続して、事務局を引き受けますが、将来的には事務局機能が実行委員会の中に育成されることが望まれます。

○いわきに関わる復興支援も今年で5年目となり、いわきでの役割と活動も中間支援組織としていわき駅前の活性化を担う平地区商店会やNPO法人Wonder ground、いわき未来会議、いわきNPOセンター、うつくしまNPOネットワークといったNPO・市民活動団体との連携を踏まえ、事業名を「復興支援事業いわきプロジェクト」とします。「ポートカフェCoCoTの森」は継続して場の設置はしますが、主催事業は実施しません。

- ① 高齢化社会に対応した地域見守り体制づくりの支援
- ② 松戸東口周辺エリア活性化事業「ヒカッテルネ！松戸マルシェ」
- ③ 復興支援事業いわきプロジェクト

(3) NPO支援事業 部門

NPO支援事業部門については、主たる事業のまつど市民活動サポートセンター指定管理業務が松戸市による指定取り消しによって、望まずして終了しました。指定管理業務で得たノウハウは、今後は、コミュニティコンサルティング業務として立ち上げることを想定しています。

- ① まるごとスマイルファンドの運営 (休止)
- ② 地域活性化センター松戸の運営事業

1-3 管理系

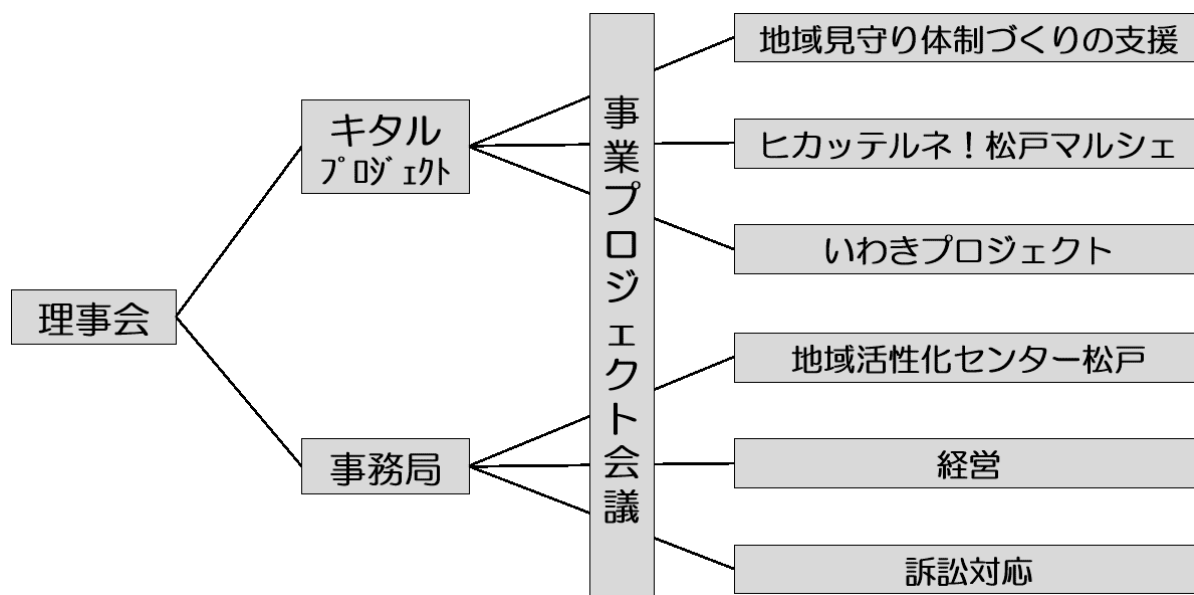
(1) 広報

ビジネスパートナー向けに定性情報を掲載したHPにリニューアルします。

一般向け・NPO向けには、ブログとfacebookで、即時性のある情報提供を行います。

ビジネスツールを整備し、対価表示のできる体制を作ります。

(2) 組織運営（組織体制・事業構造）



(3) 経営

NPO法人CoCoTの経営は、事務局が担います。定期的に経営会議を開きます。事務局は、事業プロジェクト会議に出席します。

- ①財務
- ②経理
- ③人事
- ④訴訟対応

2015年度 活動計算計画書

2015年4月1日から2016年3月31日まで

特定非営利活動法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク
代表理事 川瀬 裕思

科目	金額(単位:円)	
I 経常収益		
1. 受取会費		440,000
正会員受取入会金	50,000	
正会員受取会費	120,000	
準会員受取入会金	10,000	
準会員受取会費	60,000	
パートナー会員受取会費	200,000	
2. 受取寄附金		550,000
受取寄附金	550,000	
3. 受取助成金等		2,000,000
受取民間助成金	2,000,000	
4. 事業収益		4,382,000
人材育成事業収益	100,000	
地域連携事業収益	4,232,000	
うち復興支援事業収益	100,000	
NPO支援事業収益	50,000	
5. その他収益		-
受取利息	-	
雑収益	-	
経常収益計		7,372,000
II 経常費用		
1. 事業費		5,490,000
人材育成事業費		
人件費	-	
その他経費	60,000	
地域連携事業費		
人件費	4,009,000	
その他経費	720,000	
うち復興支援事業費		
人件費	1,107,000	
その他経費	350,000	
NPO支援事業収益		
人件費	121,000	
その他経費	520,000	
事業部門共通常業費		
人件費	50,000	
その他経費	10,000	
人件費計	4,180,000	
その他経費計	1,310,000	
2. 管理費		1,796,000
(1) 人件費		
役員報酬	-	
給料手当	-	
法定福利費	-	
福利厚生費	-	
人件費計	-	
(2) その他経費		
旅費交通費	-	
通信費	12,000	
租税公課	300,000	
消耗品費・印刷製本費	150,000	
地代家賃・管理費・水道光熱費	1,092,000	
会議費・賃借料	20,000	
保険料・諸会費・支払手数料	222,000	
その他経費計	1,796,000	
経常費用計		7,286,000
当期経常増減額		86,000

III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	-	-	
保 経常外収益計			-
IV 経常外費用			
1. 雑損失	-	-	
経常外費用計			-
税引前当期正味財産増減額			86,000
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			16,000
前期繰越正味財産額			430,254
次期繰越正味財産額			446,254